

【令和 6 年度分】

保育者の自己評価及び保護者からの園評価を踏まえた園全体の評価

社会福祉法人 松真福祉会
まきば保育園

① 日々の保育活動について

保護者の方の評価としておおむね「子どもの興味や関心を大切にしている」「心身の発達に役立っている」との意見を多くいただけています。保育者の視点でも、園の保育目標や保育所保育指針の「保育の 5 領域」を踏まえた計画的な保育を実施できていると評価しています。一方で保育目標を理解しつつも日々の保育とのつながりを認識しづらいという意見もあるため、今後も保育活動についての「ねらい」やその活動を通じた子どもの姿などを意識した保育を心がけたいと思います。

② 安心安全な保育環境について

保護者の方の評価としておおむね「安心した園生活を送れている」という意見をいただけています。またケガや体調不良などの場合にも「適切に対応してくれている」との意見もいただけています。保育者の視点でも日々の保育の中での安全の確保、事故防止のための見守り、災害時等のリスク管理の意識は高く保てていると思いますが、子どものケガの対応について処置などの方法に不安を感じたり、実際に災害が起きた場合の職員同士の連携についても課題に感じている職員がいることも分かりました。日々の避難訓練の中で、改めて職員の役割分担を確認し合ったり、ケガや事故の際の対応についても、より具体例を挙げ適切な対応が取れるよう引き続き研修等を行ってまいります。

③ 保育環境の整備・レイアウトについて

保護者の方の評価としては「整理整頓ができている」という意見をいただけています。保育者の視点では、保育室のレイアウトを工夫したり、BGM や室温などの配慮ができているという評価の一方で、絵本の整理・補修やラインナップを変えるなどの作業に時間を割くことが難しいという課題も出ました。今後整理のための時間を計画的に確保し、役割分担も明確にした上で、定期的に整理整頓や本の入れ替えを進められるようにしていきたいと思います。

④ 子どもの気持ちを尊重した保育について

保護者の方の評価としては「子どもの気持ちを尊重してくれていると感じる」という意見をいただけています。保育者の視点では、子どもと接する際の感情表現、言葉遣い、注意や指導の方法とその後のフォローについての振り返りをする中で、時として感情が先に出てしまったり、厳しい口調となってしまうという反省点も出てきました。これからも保育者自身が日々の子どもの関わりを振り返れることが何より重要だと考えております。子どもの気持ちに向き合い、また寄り添えるよう努めたいと思います。

またある程度保育者が計画的に保育活動を進めることが多いため、子どもが活動を選択できる機会を今後より充実させていけるよう園全体で検討を図りたいと思います。

⑤ 保護者の方との連携などについて

保護者の方の評価としては、園での様子や活動についてはある程度「伝わっている」との意見をいただけている反面、職員にご家庭での子育ての話しや相談があまりできていないという意見もいただきました。保育者の評価では保護者の方への言葉遣い、相談内容などの共有などについて振り返りを行い、概ね適切に対応できているものの、一部情報を他の職員と共有できていないという意見もありました。保護者の方とは朝と帰りの送迎時にお話をする事が多いですが、時間も限られてしまうため、今後懇談の機会を設けることも検討していきたいと思ひます。

今後も園全体の課題に真摯に向き合ひながら、子どもたち・保護者の皆様・地域の方々にとってよりよい保育園となるよう努めてまいりたいと思ひます。またそこで働く我々保育者にとっても、やりがいのある職場環境となるよう、全職員で協力しながら日々改善をすすめていく所存です。